

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.ajis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,520	—	58	—	61	—	27	—
20年3月期第1四半期	3,281	16.4	88	57.2	97	51.9	58	△3.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.39	—
20年3月期第1四半期	11.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	7,323	5,532	75.2	1,076.31
20年3月期	8,217	5,730	69.5	1,114.95

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,510百万円 20年3月期 5,708百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,540	—	1,037	—	1,046	—	580	—	113.28
通期	19,600	10.7	2,095	6.1	2,113	5.7	1,170	3.0	228.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 5,385,600株 20年3月期 5,385,600株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 265,534株 20年3月期 265,430株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 5,120,122株 20年3月期第1四半期 5,120,348株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題や原油・原材料価格の高騰の影響から企業の設備投資が弱含みとなり雇用情勢の改善も足踏みがみられるなど、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの売上高の特徴として、国内実地棚卸サービス事業の閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客である流通業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①実地棚卸サービス事業

実地棚卸サービス事業の業績は、国内実地棚卸サービス事業において、その他の業態に属する既存顧客の受注増などにより、売上高は3,131百万円、営業利益は53百万円となりました。

②人材派遣事業

人材派遣事業の業績は、前年同期の収益に寄与した大口単発受注がなかったことなどにより、売上高は389百万円、営業利益は2百万円となりました。

この結果、第１四半期連結累計期間売上高は3,520百万円、営業利益は58百万円、経常利益は61百万円、四半期純利益は27百万円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は7,323百万円（前連結会計年度末比893百万円の減少）となりました。これは、主として売掛金が減少したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は5,532百万円（前連結会計年度末比197百万円の減少）となりました。これは、主として配当金の支払いによるものです。

（自己資本比率）

当第１四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.2%（前連結会計年度末比5.7%増）となりました。

（１株当たり純資産額）

当第１四半期連結会計期間末における１株当たり純資産額は1,076.31円（前連結会計年度末比38.64円の減少）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,602百万円（前連結会計年度末比175百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、156百万円の増加となりました。これは、主として売上債権の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、117百万円の減少となりました。これは、主として棚卸機器等の有形固定資産の取得による支出であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、211百万円の減少となりました。これは、主として配当金の支払いによるものであります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成20年5月12日に発表いたしました「平成20年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年３月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年３月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

５．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	当第１四半期 連結会計期間末 (平成20年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,609,860	2,783,869
受取手形及び売掛金	1,472,461	2,351,359
貯蔵品	87,342	52,905
その他	365,438	301,593
貸倒引当金	△1,553	△2,369
流動資産合計	4,533,550	5,487,358
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,188,060	1,151,772
その他（純額）	452,159	451,091
有形固定資産合計	1,640,219	1,602,864
無形固定資産	348,876	335,244
投資その他の資産		
その他	816,372	800,065
貸倒引当金	△15,149	△8,456
投資その他の資産合計	801,223	791,608
固定資産合計	2,790,319	2,729,717
資産合計	7,323,869	8,217,076

	当第１四半期 連結会計期間末 (平成20年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年３月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	60,000	60,000
未払金	976,457	1,084,248
未払法人税等	46,197	496,168
賞与引当金	160,088	267,571
役員賞与引当金	18,502	69,915
その他	415,581	395,302
流動負債合計	1,676,827	2,373,205
固定負債		
退職給付引当金	30,406	29,451
その他	84,365	84,385
固定負債合計	114,771	113,836
負債合計	1,791,599	2,487,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	5,167,275	5,370,069
自己株式	△603,053	△602,755
株主資本合計	5,528,887	5,731,979
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,976	△18,489
為替換算調整勘定	△10,108	△4,772
評価・換算差額等合計	△18,084	△23,261
少数株主持分	21,467	21,317
純資産合計	5,532,269	5,730,034
負債純資産合計	7,323,869	8,217,076

(2) 四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第１四半期連結累計期間 (自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日)
売上高	3,520,359
売上原価	2,788,935
売上総利益	731,424
販売費及び一般管理費	673,140
営業利益	58,283
営業外収益	
受取利息	437
受取配当金	5,755
受取賃貸料	4,600
その他	2,173
営業外収益合計	12,967
営業外費用	
支払利息	231
貸倒引当金繰入額	5,828
賃貸費用	3,770
その他	0
営業外費用合計	9,830
経常利益	61,420
特別損失	
固定資産除却損	66
特別損失合計	66
税金等調整前四半期純利益	61,353
法人税等	33,589
少数株主利益	150
四半期純利益	27,613

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)
	当第１四半期連結累計期間
	(自 平成20年４月１日
	至 平成20年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	61,353
減価償却費	61,837
賞与引当金の増減額（△は減少）	△107,353
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△51,412
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,138
受取利息及び受取配当金	△6,193
支払利息	231
売上債権の増減額（△は増加）	874,632
未払金の増減額（△は減少）	△167,049
未払消費税等の増減額（△は減少）	△32,327
その他	△19,342
小計	617,514
利息及び配当金の受取額	4,345
利息の支払額	△153
法人税等の支払額	△465,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△102,778
有形固定資産の売却による収入	1,714
無形固定資産の取得による支出	△40,400
差入保証金の差入による支出	△7,716
差入保証金の回収による収入	14,511
その他	17,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△298
配当金の支払額	△210,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,747
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△175,085
現金及び現金同等物の期首残高	2,777,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,602,573

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

当第１四半期連結会計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第１四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）

	実地棚卸サービス 事業(千円)	人材派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	3,131,205	389,154	3,520,359	—	3,520,359
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	74	74	(74)	—
計	3,131,205	389,229	3,520,434	(74)	3,520,359
営業利益	53,190	2,449	55,639	2,644	58,283

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 実地棚卸サービス事業

金額棚卸サービス、単品棚卸サービス、資産棚卸プログラム、その他の流通業周辺サービス

(2) 人材派遣事業

人材派遣サービス

【所在地別セグメント情報】

当第１四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第１四半期連結累計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結会計期間（自 平成20年４月１日 至 平成20年６月30日）

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表

（１）（要約）四半期連結損益計算書

前第１四半期連結累計期間

（自平成19年４月１日至平成19年６月30日）

科 目	前年同四半期 〔平成20年３月期〕 第１四半期
	金 額（千円）
I 売上高	3,281,449
II 売上原価	2,563,780
売上総利益	717,668
III 販売費及び一般管理費	629,259
営業利益	88,409
IV 営業外収益	13,724
V 営業外費用	4,206
経常利益	97,928
VI 特別利益	423
VII 特別損失	235
税金等調整前四半期純利益	98,115
税金費用	39,488
四半期純利益	58,626

(２) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第１四半期連結累計期間

(自平成19年４月１日至平成19年６月30日)

	前年同四半期 〔平成20年３月期〕 第１四半期
区 分	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	98,115
減価償却費	68,067
賞与引当金の減少額	△101,156
役員賞与引当金の減少額	△50,920
退職給付引当金の増加額	1,955
受取利息及び受取配当金	△4,234
支払利息	498
売上債権の減少額	912,721
未払金の減少額	△260,262
その他	△154,303
小計	510,482
利息及び配当金の受取額	836
利息の支払額	△504
法人税等の支払額	△464,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,916
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△33,704
有形固定資産の売却による収入	32
無形固定資産の取得による支出	△60,312
投資有価証券の取得による支出	△10,000
敷金保証金の差入れによる支出	△17,603
敷金保証金の返還による収入	6,007
その他	△22,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,444
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	30,000
自己株式取得による支出	△226
配当金の支払額	△188,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,233
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3,355
V 現金及び現金同等物の増減額	△247,406
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,548,905
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,675
VIII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,334,174